



## SPORTS JAPAN PROJECT

スポーツ振興くじ (toto・BIG) の運営・販売元である独立行政法人日本スポーツ振興センターは、その収益によってアスリートの育成や身近な地域のスポーツ活動・施設などに対して多くの助成を行っています。

### 第5回 まえばし赤城山ヒルクライム (前橋市)

2011年、大型観光企画「群馬デスティネーションキャンペーン」の一環として初めて開催。コースは前橋合同庁舎前から赤城山総合観光案内所までの20.8km。市街地の生活道路も走り抜ける全国唯一の大会として高い評判を誇っている。参加者は、北は青森、南は沖縄まで約3,500人で、インターネット受付が数十分で満員になってしまう人気ぶり。昨年からはスポーツ振興くじの助成を受け、運営全般に役立てている。



2人乗りの「タンデム自転車」もPRのため参加した。

企画・制作／上毛新聞社 東京支社

# Love Sports GUNMA

vol.7

群馬県内で助成を受けたスポーツクラブや施設を、全9回でご紹介。今回は9月27日に行われた赤城山ヒルクライム取材しました。



**酒井宏幸さん** (前橋市)

普段から練習しているホームコースです。初回から連続して出場しています。スタート地点が街中にあるので参加しやすいですね。



**青木竜司さん** (神奈川県)

去年に続いて2回目の出場。9月から毎週コース練習に訪れ、本番に備えました。自分のペースで楽しく走れるコースです。



**佐藤正一さん** (埼玉県)

街中からスタートしてすぐに自然豊かな赤城山というロケーションのおかげで、気持ちよく走れますね。



**堀越さわ子さん** (伊勢崎市)

チーム「ブルービー」として参加。本格的に自転車を始めて1年、今回が初出場。最初から飛ばしすぎ、途中から苦しくなってやっとゴールできましたが、みんなで走るのは楽しいですね。



**ファヴァロ・マルコさん** (東京都)

地域の活性化に貢献したいので、地方の大会に積極的に出場しています。神秘的な赤城山を感じられるコースのファンで、4度目の出場です。

# 世代を超えてスポーツを楽しむ!

## ■前橋の新しいスポーツイベントとして定着

**金子** スポーツ振興くじの助成金は、前橋市全体で使用できる上限が決まっているので、他のイベントや施設整備などの状況に応じて、年度ごとに申請先を検討しています。ヒルクライムが助成を受け始めたのは、2014年の大会から。記録やエントリー、交通誘導、警備、会場設営などに充当しています。

参加者の内、約半数が県外からです。前日からの宿泊に加え、コース練習のための来県なども含めると経済効果は非常に大きいと思われます。街中から緑に囲まれた赤城山を駆け上るコースは好評で、リピーターがとても多く、初回からの連続参加者はなんと500人に及びます。運営体制をいっそう充実させ、皆さんに喜んでほしいですね。



前橋市文化スポーツ観光部スポーツ課  
金子 周之(かねこ・のりゆき)さん

前橋・渋川シティマラソンなどスポーツイベントの企画・運営のほか、全国規模のスポーツイベントの誘致、スポーツ施設の運営などに携わる。

## ■沿道住民の応援と赤城山の自然が人気の秘密

★もっと助成活動について知りたい方は